

2012年1月31日

MMD 研究所

スマートフォンインサイト調査

## スマートフォン白書 2012

# ユーザーの声でみる、真の人気スマートフォンブランド TOP3 は 「iPhone」「Xperia」「Galaxy」 スマートフォンを「完璧に使いこなせている」人は、わずか 1 割

スマートフォンインサイト調査

[http://mmd.update.ne.jp/news/detail.php?news\\_id=976](http://mmd.update.ne.jp/news/detail.php?news_id=976)

MMD 研究所では、2012年1月20日～24日にかけて、「スマートフォンインサイト調査」を実施しました。調査結果、及び調査概要については下記の通りです。

- ユーザーの声で決める、真の人気スマートフォンブランド TOP3 は、  
「iPhone」「Xperia」「Galaxy」の頂上決戦
- スマートフォンを「完璧に使いこなせている」と思っている人は、わずか 1 割
  - ◇アプリ平均ダウンロード数は 35 個、有料アプリでは 8 個にまで下がる
  - 一方、有料でも購入を検討するアプリのジャンルは  
「有名ゲーム」「ミュージック系」「地図、ナビ・交通系」「セキュリティ」
  - ◇約 6 割がスマートフォンを購入するときに「料金が高くなること」が不安
  - また、現在の料金プランについては約半数が「料金が高いこと」に不満
  - ◇Wi-Fi はまだ定着せず、ネットワークを使い分けている人 2 割

スマートフォンがかなり普及してきている 2012 年。携帯キャリア各社が発表する新端末もほとんどスマートフォンが占めるようになってきている。そこで今回 MMD 研究所では、スマートフォンユーザーに対して、スマートフォン端末のブランドイメージや利用実態、さらにそれに紐づくインサイトを浮き彫りにすべくインターネット調査を実施した。

調査ではまず、「スマートフォン端末として想起されるブランド」「次回機種変更するなら選びたいブランド」などスマートフォンブランドについて聞いたところ、いずれの質問でも「iPhone」「Xperia」「Galaxy」が TOP3 という結果となった。スマートフォンユーザーが思う真の人気スマートフォンブランド TOP3 であると言える。

次にスマートフォン利用実態について聞いたところ、「完璧に使いこなせている」と思っている人はわずか 1 割にとどまった。実態としては、「アプリ平均ダウンロード 35 個・有料アプリでは 8 個」「料金の高さを理由に約半数が不満」「3G、Wi-Fi、次世代通信規格などネットワークを使い分けている人たった 2 割」といったように、実はスマートフォンに不満を感じ、まだまだ使いこなせていないと思っているユーザーが多いことが浮き彫りとなった。

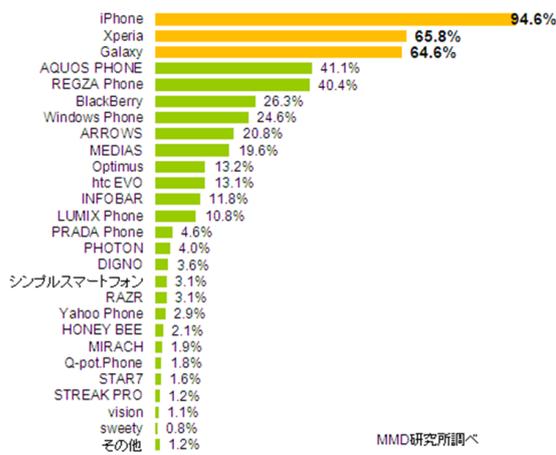
各社さまざまなサービス・システムが続々と導入されているが、これらの利用実態調査から、「安心、シンプルでわかりやすい」など、ユーザー視点でのサービス提供が求められていることが伺える。

## ■ユーザーの声で決める、真の人気スマートフォンブランド TOP3は、「iPhone」「Galaxy」「Xperia」の頂上決戦

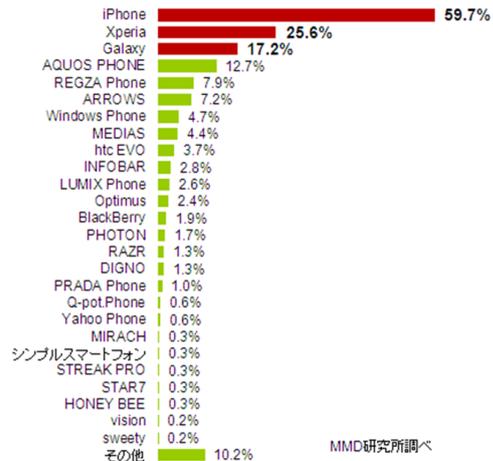
スマートフォン所有者を対象に、スマートフォンブランドについて聞いてみた。「スマートフォンといえば思い浮かぶブランド」「次回機種変更するなら選びたいブランド」共に「iPhone」「Xperia」「Galaxy」の順にTOP3にランクインする結果となった。

定番の3ブランドであるが、やはりスマートフォンユーザーが思う真の人気スマートフォンブランドTOP3であると言えるだろう。

● スマートフォンといえば思い浮かぶブランド



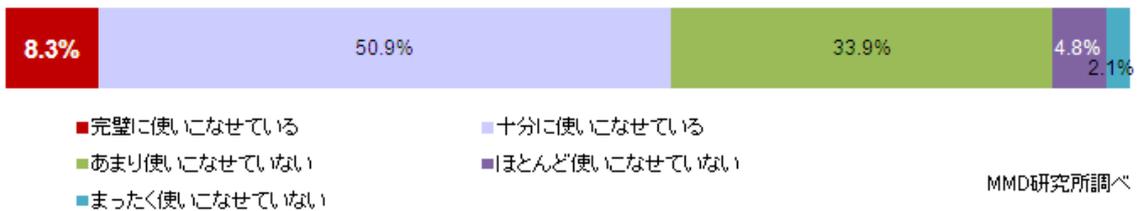
● 次回機種変更するなら選びたいブランド



## ■スマートフォンを「完璧に使いこなせている」と思っている人わずか1割

スマートフォン所有者にどのくらいスマートフォンを使いこなせているかを聞いたところ、「使いこなせている」と回答したユーザーは59.2%であったものの、一方「完璧に使いこなせている」と回答しているユーザーはわずか8.3%となった。

● スマートフォンの使いこなし度

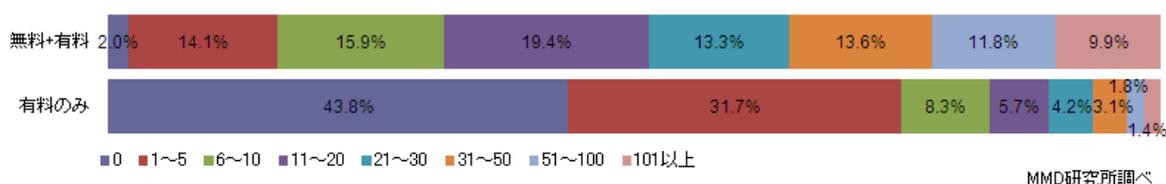


**■アプリ平均ダウンロード数は35個、有料アプリでは8個にまで下がる**  
**一方、有料でも購入を検討するアプリのジャンルは「有名ゲーム」「ミュージック系」「地図、ナビ・交通系」「セキュリティ」**

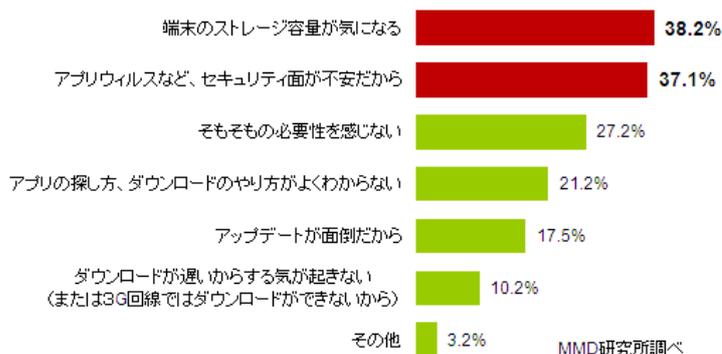
ダウンロードしたことのあるアプリの数について聞いてみたところ、「11~20」が最も多く19.4%で、平均35個がダウンロードされており、有料アプリの平均ダウンロード数は8個にまで下がった。また、定期的に使っているアプリは「1~5」という回答が最も多く38.3%で、平均9個を定期的に使っていることがわかった。

次にアプリをあまりダウンロードしない理由を「1~20」のアプリ(有料、無料含む)をダウンロードしたことがあると回答したユーザーを対象に聞いたところ「端末のストレージ容量が気になる(38.2%)」という回答が最も多く、僅差で「アプリウィルスなど、セキュリティ面が不安だから(37.1%)」という回答が得られた。

● ダウンロードしたアプリの数

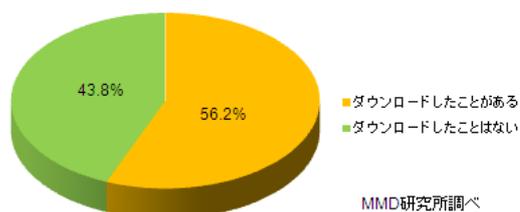


● アプリをダウンロードしない、もしくはあまりダウンロードしない理由

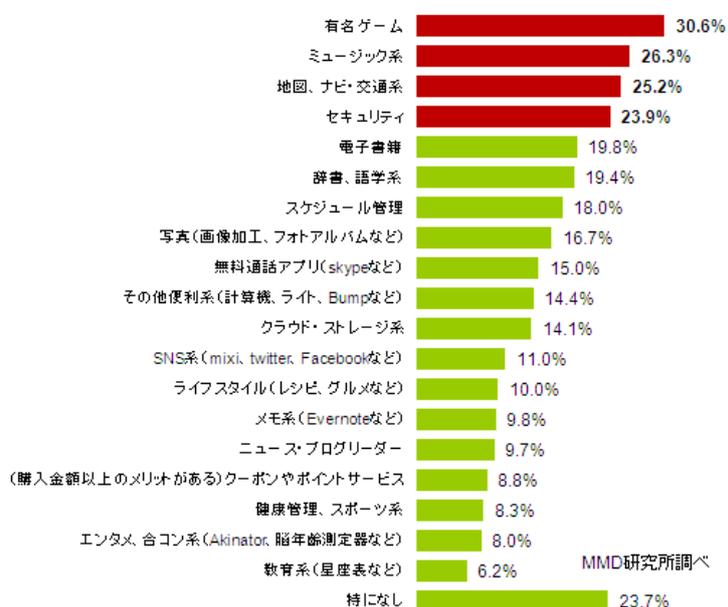


さらに、有料アプリダウンロードについて調査したところ、全体の56.2%が「有料アプリ」をダウンロードしたことがわかった。そのうちの購入未経験者と「1~20個」有料アプリをダウンロードしたことがあるユーザーに有料でも購入を検討するアプリのジャンルを聞いたところ、「有名ゲーム」「ミュージック系」「地図、ナビ・交通系」「セキュリティ」がランクインする結果となった。

● 有料アプリのダウンロード経験



● 有料でも購入を検討するアプリのジャンル



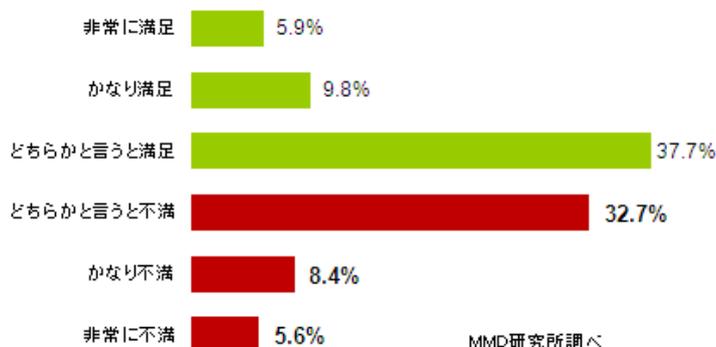
■ 約6割がスマートフォンを購入するときに「料金が高くなること」が不安  
また、現在の料金プランについては約半数が「料金が高いこと」に不満

スマートフォンを購入する際に不安に思った事を聞いてみたところ、「通信料金が高くなりそう」という回答が 58.3%と最も多い結果となった。また、現在の料金プランに関する満足度調査をしたところ、「どちらかと言うと不満(32.7%)」「かなり不満(8.4%)」「非常に不満(5.6%)」を合わせ約半数の 46.7%が「不満」と回答した。

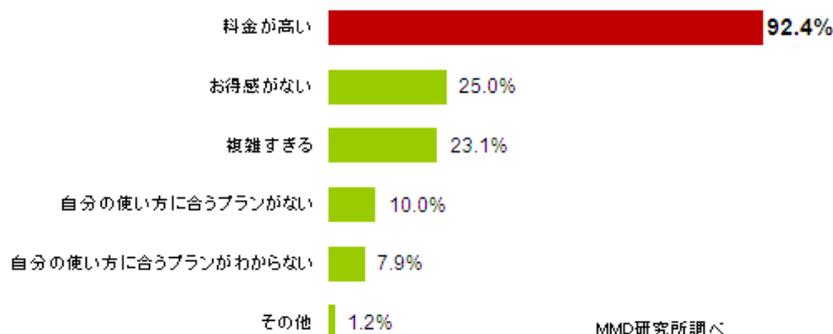
さらに、不満と答えた人のうち、92.4%もの人が「料金が高い」ことをその理由に挙げた。

やはり、「スマートフォン＝料金が高い」というイメージは根強く、料金プラン満足度を上げることがスマートフォン満足度を上げるカギとなりそうだ。

● スマートフォン料金プランの満足度



● 料金プラン不満理由



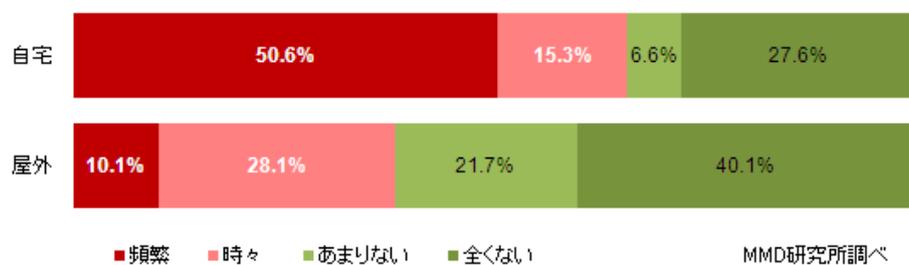
■ Wi-Fi はまだ定着せず、ネットワークを毎回使い分けている人は 2 割

まず、Wi-Fi の利用状況について聞いてみたところ、「自宅での利用者(頻繁に使う+時々使う)」が 65.9%であったのに対し、「屋外での利用者(頻繁に使う+時々使う)」は 38.2%となった。スマートフォンの普及で自宅での利用は定着しつつあるが、まだまだ Wi-Fi を日常的に使う、というレベルには達していないことが浮き彫りになった。

また、3G、Wi-Fi、次世代通信規格などのネットワークの使い分けについて聞いたところ「意識したことがない」と回答したユーザーが 37.8%と最も多く、「毎回、適宜使い分けて利用している」と回答したユーザーは 20.6%という結果となった。

利用歴別に見てみると、スマートフォン利用歴が長い(~4 年以内)ユーザーほど、「毎回、適宜使い分けて利用している」54.8%と使い分けをしている傾向にあることがわかった。

● Wi-Fiの利用頻度（自宅・屋外）



● 3G、Wi-Fi、次世代通信規格などのネットワークの使い分けについて

